



オオジシバリ

# 見沼自然散策

2022.5.14



アメリカフウロ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



アヤメ



キショウブ

アヤメの大きな花弁（外花被片）の中央にある網目模様が名前の由来。ここは蜜の在りかを知らせる場所  
キショウブはヨーロッパ原産。鑑賞用に持ち込まれたものが野生化している

→ 萱蒲湯に使うショウブ穂状の花をつける



ショウブ



エゴノキ



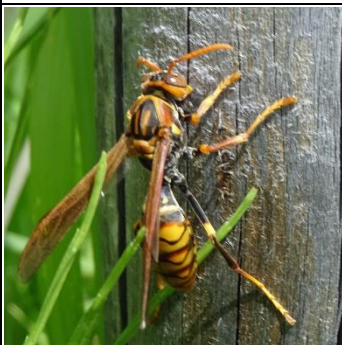
カキの花

トチノキは葉の上部に花穂を立てる。蜜が多い花に、虫が集まる。実はクリに似ている

今の季節は白い花をつけている木が多い。夜でも気温が高いので虫が活動可能だから夜でも虫が気がつきやすい色と匂いで虫を呼び



トチノキ



アシナガバチ

← アシナガバチが杭に来て木をかじっている。木の繊維を使い唾液と混ぜて巣を作る。巣は和紙にしている  
→ サビキコリはコメツクムシの仲間。驚くと足を縮めて死んだふり。起きるときには胸部のばねを利用して跳ねる



サビキコリ



ヒメウラナミジヤノメ



ギンメッキゴミグモ



ゴミグモ

クモたちも春に活動開始！まだ幼体なので巣も小さい。それでも、親と同じように巣を張り、獲物を待つ



オニグモ



コゲラ



シジュウカラ

鳥たちも子育てに挑戦中  
コゲラは枯れ木の幹をつつき巣穴づくり。シジュウカラは穴を探して営巣、ときには人工物にも巣を作る  
コチドリは砂礫地に石ころによく似た卵を産む。ヒナはふ化直後から歩ける身を守るには自分で動かし



コチドリ